

平成 24 年度学校基本調査結果速報 (富山県分)

学校基本調査（統計法に基づく基幹統計調査）は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、短期大学、高等専門学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校等に関する基本的事項について調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的として、文部科学省が昭和 23 年から毎年実施しているものです。

この速報は、本年 5 月 1 日現在で実施された学校基本調査の調査結果のうち文部科学省が直接調査する大学、短期大学、高等専門学校以外の富山県内の学校についての主要項目をとりまとめたものです。

なお、詳細については、後日「学校基本調査報告書」として公表する予定です。

平成 24 年 8 月 27 日
富山県経営管理部統計調査課

利用上の注意

◇この統計表の数値は速報値であり、後日、文部科学省から公表される数値が確定値となる。なお、速報の段階では、修正数値の処理の関係上、文部科学省で公表されている数値と異なる場合がある。

◇比率算出については、単位未満を四捨五入した。

◇用語の意味は、次のとおりである。

高等学校等進学率＝高等学校等進学者÷中学校卒業生総数×100

大学等進学率＝大学等進学者÷高等学校卒業生総数×100

就職率＝就職者総数（就職者と就職進学者を含む全就職者）

÷中学校卒業生総数（または高等学校卒業生総数）×100

◇調査は、平成24年5月1日現在である。（過去1年間を対象とする項目や卒業生等に関する項目を除く）

目次

1	幼稚園	1
2	小学校	3
3	中学校	4
4	高等学校	5
5	特別支援学校	7
6	専修学校・各種学校	
	(1) 専修学校	8
	(2) 各種学校	8
7	理由別長期欠席者数	
	(1) 小学校	10
	(2) 中学校	11
8	卒業後の状況調査	
	(1) 中学校	12
	(2) 高等学校	14

1 幼稚園

- ・ 幼稚園数は92園で、前年度より1園減少（減少のみ）している。
設置者別にみると、国立が1園、公立が32園、私立が59園となっている。
- ・ 園児数は7,229人で、前年度より182人（2.5%）減少している。
男女別にみると、男子が3,635人で、前年度より109人（2.9%）減少し、女子が3,594人で、前年度より73人（2.0%）減少している。
設置者別では、国立が106人、公立が1,590人、私立が5,533人で、私立が全体の76.5%を占めている。
年齢別では、3歳児が2,283人で、前年度より55人（2.4%）減少し、4歳児が2,391人で、前年度より164人（6.4%）減少し、5歳児が2,555人で、前年度より37人（1.5%）増加している。園児数に占める3歳児の割合は31.6%（前年度31.5%）である。また、3歳児入園者の占める割合は92.9%（前年度92.6%）である。
- ・ 幼稚園就園率（小学校1年生児童のうち幼稚園修了者の占める割合）は28.0%で、前年度より0.9ポイント低下している。
- ・ 教員数（本務者）は647人で、前年度より9人（1.4%）増加している。
男女別にみると、男子教員が37人で、1人（2.8%）増加し、女子教員が610人で、8人（1.3%）増加している。

表1 幼稚園の推移

（単位：園、学級、人、%）

年度	A		B		C		D		1学級当たり		教員1人当たり	
	園数	学級数	園児数	対前年度増減率	園児数	対前年度増減率	園児数	対前年度増減率	C/B	増減数	C/D	増減数
平成19	99	489	8,683	△2.8	720	△1.6	17.8	△0.3	12.1	△0.1		
20	99	488	8,208	△5.5	711	△1.3	16.8	△1.0	11.5	△0.6		
21	99	481	7,823	△4.7	677	△4.8	16.3	△0.5	11.6	0.1		
22	94	467	7,660	△2.1	664	△1.9	16.4	0.1	11.5	△0.1		
23	93	466	7,411	△3.3	638	△3.9	15.9	△0.5	11.6	0.1		
24	92	455	7,229	△2.5	647	1.4	15.9	0.0	11.2	△0.4		
国立	1	5	106	△9.4	8	14.3	21.2	△2.2	13.3	△3.4		
公立	32	119	1,590	△1.3	140	2.2	13.4	0.3	11.4	△0.4		
私立	59	331	5,533	△2.6	499	1.0	16.7	△0.1	11.1	△0.4		

表2 年齢別園児数

(単位：人、%)

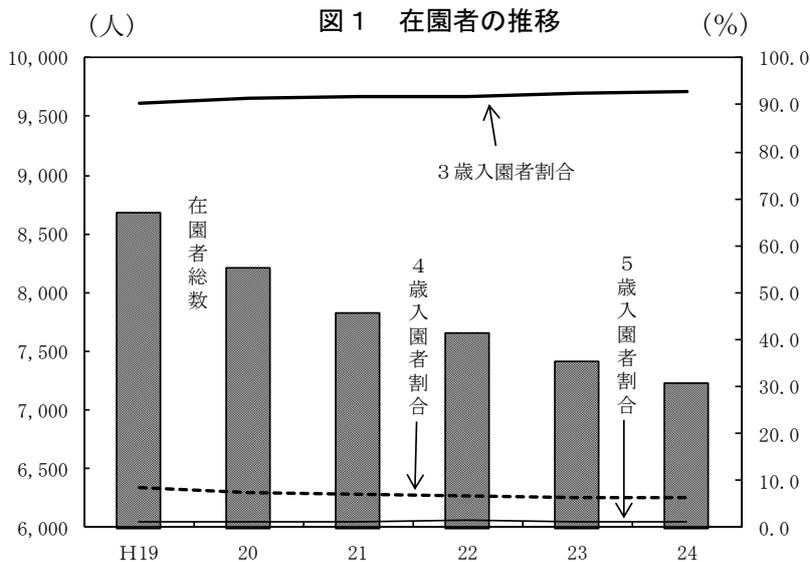
年度	在園者 総数	3歳児	4歳児			5歳児			3歳児 入園者 の割合	
			計	3歳か ら入園	4歳か ら入園	計	3歳か ら入園	4歳か ら入園		5歳か ら入園
平成19	8,683	2,856	2,820	2,507	313	3,007	2,495	414	98	90.5
20	8,208	2,618	2,764	2,484	280	2,826	2,402	328	96	91.4
21	7,823	2,387	2,697	2,447	250	2,739	2,357	305	77	91.9
22	7,660	2,462	2,483	2,246	237	2,715	2,329	279	107	91.9
23	7,411	2,338	2,555	2,343	212	2,518	2,183	250	85	92.6
24	7,229	2,283	2,391	2,197	194	2,555	2,238	248	69	92.9
男子	3,635	1,165	1,175	1,069	106	1,295	1,131	128	36	92.6
女子	3,594	1,118	1,216	1,128	88	1,260	1,107	120	33	93.3
国立	106	23	40	26	14	43	26	17	—	70.8
公立	1,590	471	534	452	82	585	478	90	17	88.1
私立	5,533	1,789	1,817	1,719	98	1,927	1,734	141	52	94.7

表3 幼稚園就園率

(単位：人、%)

年度	幼稚園修了者数	小学1年生数	就園率
平成19	3,029	10,125	29.9
20	2,996	10,168	29.5
21	2,804	9,673	29.0
22	2,745	9,586	28.6
23	2,695	9,327	28.9
24	2,531	9,034	28.0

注) 就園率=幼稚園修了者数÷小学1年生数×100



2 小 学 校

- ・ 小学校数は199校で、前年度より2校減少（減少のみ）している。
- ・ 学級数は2,384学級で、前年度より48学級減少している。
- ・ 児童数は57,959人（男子29,764人、女子28,195人）で、前年度より1,186人（2.0%）減少している。これはピーク時（昭和33年度 159,700人）の36.3%である。
- ・ 教員数（本務者）は3,682人で、前年度より35人（0.9%）減少している。
男女別にみると、男子教員が1,208人で、1人（0.1%）増加し、女子教員が2,474人で、36人（1.4%）減少している。

表4 小学校の推移

（単位：校、学級、人、%）

年度	A		B		C		D		1学級当たり		教員1人当たり	
	学校数	学級数	児童数	対前年度増減率	教員数	対前年度増減率	児童数 C/B	対前年度増減数	児童数 C/D	対前年度増減数		
平成19	210	2,435	61,048	△0.6	3,662	△0.2	25.1	0.0	16.7	0.0		
20	206	2,454	61,135	0.1	3,667	0.1	24.9	△0.2	16.7	0.0		
21	204	2,445	60,459	△1.1	3,679	0.3	24.7	△0.2	16.4	△0.3		
22	203	2,430	59,870	△1.0	3,700	0.6	24.6	△0.1	16.2	△0.2		
23	201	2,432	59,145	△1.2	3,717	0.5	24.3	△0.3	15.9	△0.3		
24	199	2,384	57,959	△2.0	3,682	△0.9	24.3	0.0	15.7	△0.2		
国立	1	12	468	△1.7	18	0.0	39.0	△0.7	26.0	△0.4		
公立	198	2,372	57,491	△2.0	3,664	△0.9	24.2	0.0	15.7	△0.2		

表5 学年別児童数

（単位：人）

年度	総数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成19	61,048	10,125	10,186	10,123	10,187	10,341	10,086
20	61,135	10,168	10,128	10,201	10,121	10,174	10,343
21	60,459	9,673	10,152	10,132	10,205	10,121	10,176
22	59,870	9,586	9,680	10,151	10,126	10,210	10,117
23	59,145	9,327	9,594	9,704	10,151	10,145	10,224
24	57,959	9,034	9,349	9,587	9,692	10,156	10,141
男子	29,764	4,702	4,761	4,902	4,988	5,164	5,247
女子	28,195	4,332	4,588	4,685	4,704	4,992	4,894

3 中 学 校

- ・ 中学校数は83校で、前年度と同数である。
- ・ 学級数は1,023学級で、前年度より9学級減少している。
- ・ 生徒数は30,364人（男子15,507人、女子14,857人）で、前年度より136人（0.4%）減少している。これはピーク時（昭和37年度 88,658人）の34.2%である。
- ・ 教員数（本務者）は2,152人で、前年度より16人（0.7%）減少している。
男女別にみると、男子教員が1,137人で、4人（0.4%）増加し、女子教員が1,015人で、20人（1.9%）減少している。

表6 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A	B	C		D		1学級当たり		教員1人当たり	
	学校数	学級数	生徒数	対前年度 増減率	教員数	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数
平成19	86	969	30,456	1.3	2,113	1.3	31.4	△0.1	14.4	0.0
20	86	965	30,443	△0.0	2,107	△0.3	31.5	0.1	14.4	0.0
21	84	1,020	30,918	1.6	2,141	1.6	30.3	△1.2	14.4	0.0
22	83	1,012	30,448	△1.5	2,153	0.6	30.1	△0.2	14.1	△0.3
23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0
24	83	1,023	30,364	△0.4	2,152	△0.7	29.7	0.1	14.1	0.0
国立	1	12	478	0.0	23	0.0	39.8	0.0	20.8	0.0
公立	81	1,002	29,561	△0.5	2,106	△0.8	29.5	0.1	14.0	0.0
私立	1	9	325	0.0	23	0.0	36.1	0.0	14.1	0.0

表7 学年別生徒数

(単位：人)

年度	総数	1学年	2学年	3学年
平成19	30,456	10,551	9,849	10,056
20	30,443	10,059	10,539	9,845
21	30,918	10,318	10,061	10,539
22	30,448	10,106	10,303	10,039
23	30,500	10,089	10,106	10,305
24	30,364	10,197	10,074	10,093
男子	15,507	5,149	5,146	5,212
女子	14,857	5,048	4,928	4,881

4 高等学校

- ・ 高等学校数は53校で、前年度より8校減少（減少のみ）している。
設置者別にみると、公立が43校、私立が10校となっている。
- ・ 生徒数は29,279人（男子14,688人、女子14,591人）で、前年度より526人（1.8%）増加している。これは、ピーク時（昭和40年度 65,436人）の44.7%である。
設置者別にみると、公立が23,112人で、前年度より352人（1.5%）増加し、私立が6,167人で、前年度より174人（2.9%）増加している。
課程別では、全日制本科が27,842人で、前年度より569人（2.1%）増加し、定時制本科が1,157人で、前年度より16人（1.4%）減少し、専攻科が280人で、前年度より27人（8.8%）減少している。
- ・ 教員数（本務者）は2,344人で、前年度より10人（0.4%）減少している。
男女別にみると、男子教員が1,485人で、14人（0.9%）減少し、女子教員が859人で、4人（0.5%）増加している。

表8 高等学校の推移

（単位：校、人、%）

年度	A 学校数	B		C		教員1人当たり	
		生徒数	対前年度 増減率	教員数	対前年度 増減率	生徒数 B/C	対前年度 増減数
平成19	57	28,830	△3.2	2,346	△2.3	12.3	△0.1
20	58	28,379	△1.6	2,332	△0.6	12.2	△0.1
21	58	28,110	△0.9	2,318	△0.6	12.1	△0.1
22	61	28,613	1.8	2,341	1.0	12.2	0.1
23	61	28,753	0.5	2,354	0.6	12.2	0.0
24	53	29,279	1.8	2,344	△0.4	12.5	0.3
公立	43	23,112	1.5	1,917	△0.8	12.1	0.3
私立	10	6,167	2.9	427	1.2	14.4	0.2

表9 学年別生徒数（本科＋専攻科）

（単位：人）

年度	総数	本科				専攻科
		1学年	2学年	3学年	4学年	
平成19	28,830	9,631	9,344	9,446	79	330
20	28,379	9,505	9,344	9,124	84	322
21	28,110	9,314	9,254	9,141	102	299
22	28,613	10,043	9,116	9,037	102	315
23	28,753	9,579	9,837	8,938	92	307
24	29,279	9,846	9,396	9,643	114	280
男子	14,688	4,900	4,777	4,836	65	110
女子	14,591	4,946	4,619	4,807	49	170

表10 学科別生徒数（本科のみ）

（単位：人）

年度	総数	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成19	28,500	18,165	623	3,823	2,246	263	626	120	176	1,047	1,411
20	28,057	17,897	609	3,725	2,228	251	641	119	144	1,034	1,409
21	27,811	17,825	589	3,651	2,158	254	652	119	144	1,039	1,380
22	28,298	18,303	581	3,620	2,214	221	668	122	134	1,045	1,390
23	28,446	18,423	575	3,587	2,257	204	680	118	129	1,083	1,390
24	28,999	18,835	587	3,583	2,366	176	664	117	119	1,121	1,431
男子	14,578	9,097	324	3,066	964	108	62	2	4	528	423
女子	14,421	9,738	263	517	1,402	68	602	115	115	593	1,008

注）理数関係及び外国語関係はその他に分類されている（探究科学科を含む）。

5 特別支援学校

- ・ 学校数は13校で、前年度と同数である。
- ・ 在学者数は1,227人（男子836人、女子391人）で、前年度より12人（1.0%）増加している。
- ・ 教員数（本務者）は908人（男子教員276人、女子教員632人）で、前年度より16人（1.8%）増加している。

表11 特別支援学校の推移

（単位：校、学級、人、%）

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		教員1人当たり	
			在学者数	対前年度 増減率	教員数	対前年度 増減率	在学者数	対前年度 増減数	在学者数	対前年度 増減数
平成19	13	372	1,134	2.6	896	0.2	3.0	0.1	1.3	0.1
20	13	368	1,174	3.5	896	0.0	3.2	0.2	1.3	0.0
21	13	351	1,171	△0.3	888	△0.9	3.3	0.1	1.3	0.0
22	13	348	1,185	1.2	891	0.3	3.4	0.1	1.3	0.0
23	13	351	1,215	2.5	892	0.1	3.5	0.1	1.4	0.1
24	13	347	1,227	1.0	908	1.8	3.5	0.0	1.4	0.0
国立	1	9	59	0.0	31	6.9	6.6	0.0	1.9	△0.1
公立	12	338	1,168	1.0	877	1.6	3.5	0.1	1.3	0.0

6 専修学校・各種学校

(1) 専修学校

- ・ 学校数は32校で、前年度より1校増加（増加のみ）している。
設置者別にみると、公立が6校、私立が26校となっている。
- ・ 生徒数は3,356人（男子927人、女子2,429人）で、前年度より17人（0.5%）増加している。
課程別にみると、高等課程が171人、専門課程が3,132人、一般課程が53人で、全生徒数に占める専門課程の生徒数の割合は93.3%である。
- ・ 教員数のうち、本務者は288人（男子教員83人、女子教員205人）で、前年度より20人（7.5%）増加し、兼務者は1,117人（男子教員594人、女子教員523人）で、前年度より13人（1.2%）増加している。

(2) 各種学校

- ・ 学校数は26校で、前年度より1校減少（減少のみ）している。
- ・ 生徒数は2,391人（男子1,316人、女子1,075人）で、前年度より40人（1.6%）減少している。
- ・ 教員数のうち、本務者は273人（男子教員243人、女子教員30人）で、前年度より3人（1.1%）減少している。

専修学校・各種学校

－職業や實際生活に必要な能力を身につけるための学校－

専修学校は、①修業年限が1年以上、②授業時間数が年間800時間以上、③生徒が常時40人以上、の要件を満たす学校で、課程によっては高卒程度の学力が必要

(例) 看護学校、介護福祉学校、経済専門学校など

各種学校は、①修業年限が1年以上（簡易なものは3か月以上）、②授業時間数が年間680時間以上、の要件を満たす学校で、生徒数や入学資格についての制限はない。

(例) 自動車教習所、予備校、料理学校など

表12 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数(再掲)		
		総数	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成19	34	3,493	1,097	2,396	312	1,063	160	3,208	125
20	32	3,282	976	2,306	299	1,063	148	3,031	103
21	32	3,147	978	2,169	293	1,059	146	2,906	95
22	31	3,390	1,071	2,319	276	1,089	168	3,122	100
23	31	3,339	1,043	2,296	268	1,104	162	3,119	58
24	32	3,356	927	2,429	288	1,117	171	3,132	53
公立	6	781	89	692	66	428	-	781	-
私立	26	2,575	838	1,737	222	689	171	2,351	53

表13 各種学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数(再掲)	
		総数	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成19	31	2,862	1,605	1,257	306	92	2,333	529
20	29	2,295	1,250	1,045	301	89	1,713	582
21	28	2,266	1,219	1,047	298	92	1,700	566
22	27	2,264	1,244	1,020	280	102	1,621	643
23	27	2,431	1,370	1,061	276	103	1,769	662
24	26	2,391	1,316	1,075	273	105	1,738	653

図2 専修学校の分野別生徒数

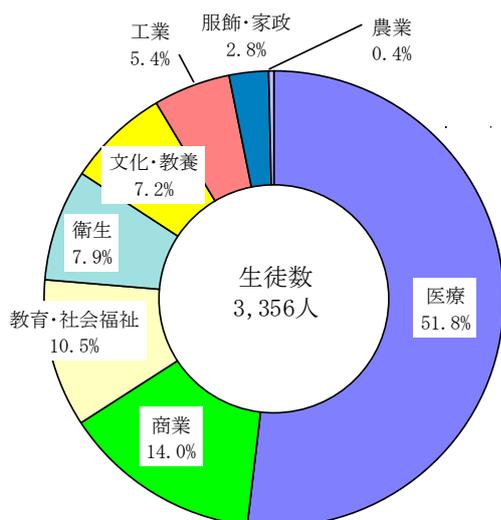
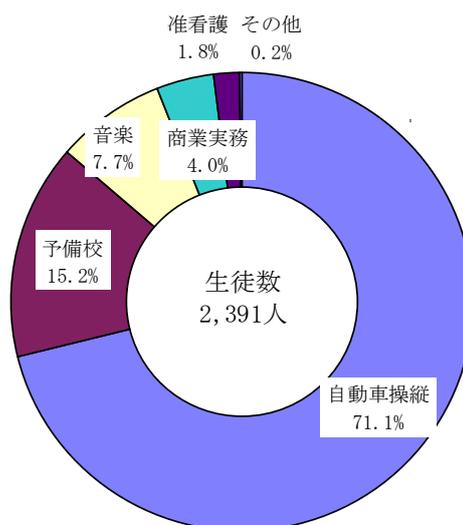


図3 各種学校の課程別生徒数



7 理由別長期欠席者数

(1) 小学校

平成23年度間の30日以上長期欠席者数は、平成22年度間より15人(4.1%)増加の383人であった。全児童数(平成23年度児童数 59,145人)に占める長期欠席者の比率は、全国の0.79%より0.14ポイント低い0.65%で、低い順に全国第16位(前年度第16位)であった。

理由別にみると、「不登校」が201人(構成比52.5%)で最も多く、次いで「その他」が117人(同30.5%)、「病気」が64人(同16.7%)、「経済的理由」が1人(同0.3%)となっている。

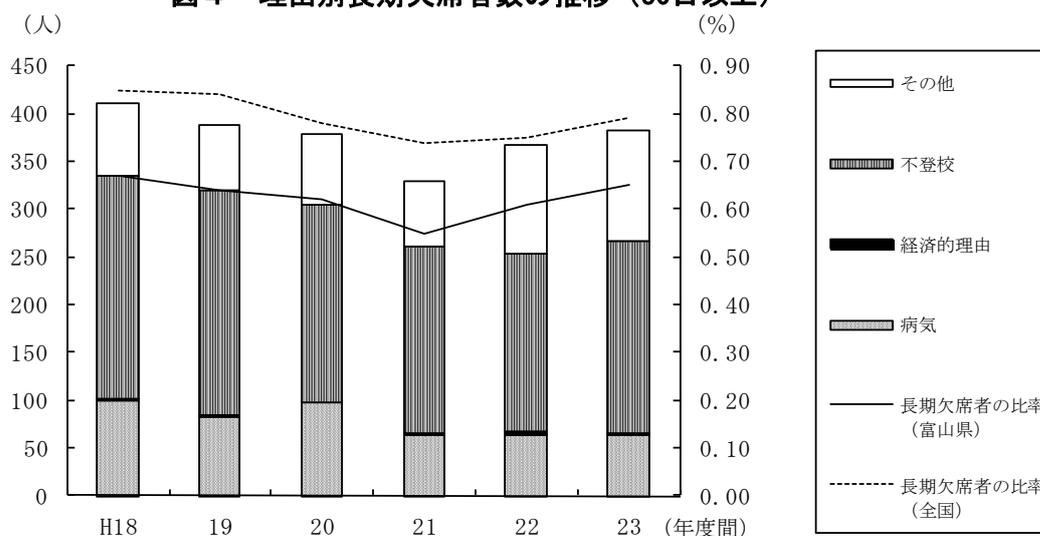
なお、全児童数に占める「不登校」の比率は、全国の0.33%より0.01ポイント高い0.34%で、低い順に全国第27位(前年度第24位)であった。

表14 理由別長期欠席者数 (単位：人)

年度間	長期欠席(30日以上)理由				
	計	病 気	経済的 理 由	不登校	その他 *
平成18	411	99	3	233	76
19	389	83	1	236	69
20	379	97	1	207	74
21	330	63	3	195	69
22	368	64	3	187	114
23	383	64	1	201	117

*「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図4 理由別長期欠席者数の推移(30日以上)



(2) 中学校

平成23年度間の30日以上長期欠席者数は、平成22年度間より36人(4.1%)減少の835人であった。全児童数(平成23年度児童数 30,500人)に占める長期欠席者の比率は、全国の3.41%より0.67ポイント低い2.74%で、低い順に全国第5位(前年度第8位)であった。

理由別にみると、「不登校」が640人(構成比76.6%)で最も多く、次いで「その他」が142人(同17.0%)、「病気」が53人(同6.3%)となっている。

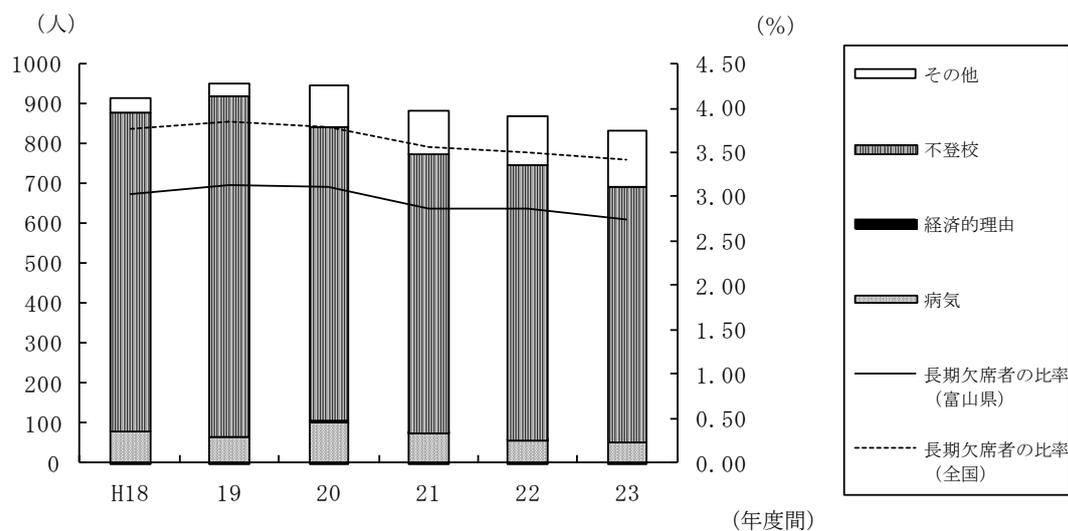
なお、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国の2.64%より0.54ポイント低い2.10%で、低い順に全国第4位(前年度第4位)であった。

表15 理由別長期欠席者数 (単位:人)

年度間	長期欠席(30日以上)理由				
	計	病 気	経済的 理 由	不登校	その他 *
平成18	914	79	-	802	33
19	952	64	-	858	30
20	946	104	4	733	105
21	885	73	3	700	109
22	871	56	1	690	124
23	835	53	-	640	142

*「その他」には、「欠席理由が2つ以上(「病気」と「不登校」など)あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。

図5 理由別長期欠席者数の推移(30日以上)



8 卒業後の状況調査

(1) 中学校

- 平成 24 年 3 月の中学校卒業生数は 10,308 人（男子 5,154 人、女子 5,154 人）で、前年度より 264 人（2.6%）増加している。
- 高等学校等への進学者数は 10,194 人（男子 5,093 人、女子 5,101 人）で、前年度より 262 人（2.6%）増加している。高等学校等進学率は 98.9%（前年度 98.9%）で、全国第 7 位（前年度第 9 位）であった。
- 就職者数（表 16 の「E 就職者」に「H BCD のうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた、全就職者数）は 30 人で、前年度より 3 人（9.1%）減少している。就職率は 0.3%（前年度 0.3%）であった。

表 16 中学校卒業生の状況別推移

（単位：人、%）

各年 3月	A 卒業生 総数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 死亡 不詳	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I 進学率 B/A	J 就職率 (E+H)/A
平成19	10,176	10,049	1	5	38	83	—	3	98.8	0.4
20	10,060	9,916	—	8	61	73	2	2	98.6	0.6
21	9,843	9,697	4	3	38	101	—	1	98.5	0.4
22	10,531	10,379	—	1	39	112	—	4	98.6	0.4
23	10,044	9,932	1	1	31	79	—	2	98.9	0.3
24	10,308	10,194	3	3	28	79	1	2	98.9	0.3
男子	5,154	5,093	—	2	23	36	—	2	98.8	0.5
女子	5,154	5,101	3	1	5	43	1	—	99.0	0.1
国立	158	158	—	—	—	—	—	—	100.0	0.0
公立	10,038	9,925	3	3	28	78	1	2	98.9	0.3
私立	112	111	—	—	—	1	—	—	99.1	0.0

表 17 高等学校等進学率の推移

(単位：%)

各年 3月	富山県		全 国
	男子	女子	
平成14	98.8	98.7	97.0
15	98.5	98.4	97.3
16	98.4	98.3	97.5
17	98.6	98.3	97.6
18	98.6	98.4	97.7
19	98.8	98.6	97.7
20	98.6	98.3	97.8
21	98.5	98.4	97.9
22	98.6	98.4	98.0
23	98.9	98.7	98.2
24	98.9	98.8	98.3

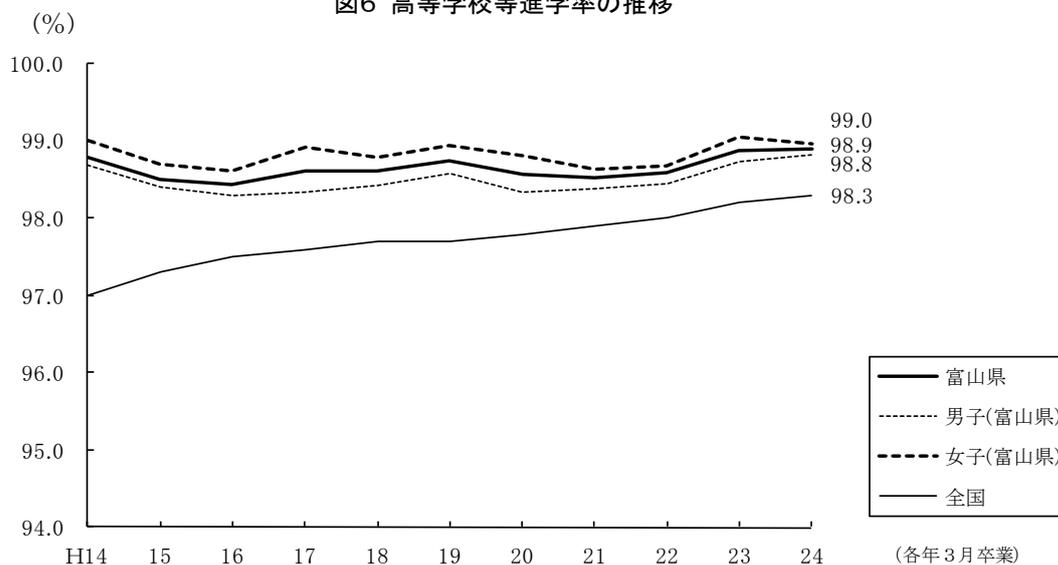
表 18 就職者数及び県内就職率

(単位：人、%)

各年 3月	就職者数	うち県内 就職者	県内 就職率
平成14	47	44	93.6
15	48	45	93.8
16	49	46	93.9
17	54	51	94.4
18	48	46	95.8
19	41	40	97.6
20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9
24	30	27	90.0

注) 高等学校等進学率の最高は、平成6年の98.92%であった。(平成23年は98.88%、平成24年は98.89%)

図6 高等学校等進学率の推移



(2) 高等学校

- 平成 24 年 3 月の高等学校卒業生数は 8,791 人（男子 4,348 人、女子 4,443 人）で、前年度より 135 人（1.5%）減少している。

- 大学等進学者数は 4,683 人（男子 2,203 人、女子 2,480 人）で、前年度より 154 人（3.2%）減少している。このうち、大学学部への進学者は 3,905 人で、前年度より 120 人（3.0%）減少し、短大本科への進学者は 699 人で、前年度より 31 人（4.2%）減少している。

大学等進学率は 53.3%で、前年度より 0.9 ポイント低下し、全国第 16 位（前年度第 17 位）であった。このうち、大学学部への進学率は 44.4%で、前年度より 0.7 ポイント低下し、短大本科への進学率は 8.0%で、0.2 ポイント低下している。

大学等進学率を男女別にみると、男子が 50.7%（大学学部 48.0%、短大本科 2.3%）、女子が 55.8%（大学学部 40.9%、短大本科 13.5%）となっている。

- 就職者数（表 19 の「E 就職者」に「I BCD のうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた、全就職者数）は 1,802 人で、前年度より 81 人（4.7%）増加している。就職率は 20.5%で、前年度より 1.2 ポイント上昇し、全国の 16.8%を上回っている。（高い順に全国第 25 位（前年度第 25 位））。

男女別にみると、男子が 26.6%（前年度 25.1%）、女子が 14.6%（前年度 13.4%）となっている。

就職先別では、県内就職者が 1,698 人で、県外就職者の 104 人を大きく上回っている。県内就職率は 94.2%（前年度 93.6%）で、全国第 2 位（前年度第 2 位）であった。

県外就職者の都道府県別では、大阪府 26 人、石川県 22 人、東京都 20 人、愛知県 13 人などとなっている。

表 19 高等学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業者 総数	B 大学等 進学者	C 専修学 校専門 課程進 学者	D 専修学 校一般 課程等 入学者	E 就職者	F 一時的 な仕事 に就い た者	G 左記以 外の者	H 死亡 不詳	I BCDのう ち就職 してい る者(再 掲)	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+I)/ A
平成19	9,942	5,324	1,763	692	2,002	44	117	—	10	53.6	20.2
20	9,320	5,091	1,454	724	1,886	43	121	1	10	54.6	20.3
21	8,986	4,867	1,408	668	1,876	47	120	—	1	54.2	20.9
22	9,041	4,989	1,588	672	1,620	31	141	—	9	55.2	18.0
23	8,926	4,837	1,506	737	1,708	51	85	2	13	54.2	19.3
24	8,791	4,683	1,486	682	1,791	46	100	3	11	53.3	20.5
男子	4,348	2,203	475	464	1,151	13	40	2	4	50.7	26.6
女子	4,443	2,480	1,011	218	640	33	60	1	7	55.8	14.6
公立	7,019	3,956	1,065	581	1,322	33	62	—	10	56.4	19.0
私立	1,772	727	421	101	469	13	38	3	1	41.0	26.5

表 20 大学等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年 3月	大学(学部)			短大(本科)			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援 学校高等 部専攻科	大学・短 大の通信 教育部
	総数	男子	女子	総数	男子	女子				
平成19	4,292	2,418	1,874	954	162	792	6	71	—	1
20	4,196	2,288	1,908	820	128	692	—	73	—	2
21	4,058	2,194	1,864	745	90	655	—	64	—	—
22	4,099	2,232	1,867	798	115	683	—	91	1	—
23	4,025	2,169	1,856	730	111	619	1	78	—	3
24	3,905	2,086	1,819	699	101	598	—	75	1	3

表 21 大学等進学率の推移

(単位：%)

各年 3月	富山県			全国
	男子	女子		
平成14	49.4	48.3	50.6	44.8
15	48.3	47.2	49.4	44.6
16	48.6	47.2	50.1	45.3
17	50.5	49.0	52.1	47.3
18	51.4	50.2	52.5	49.3
19	53.6	51.5	55.7	51.2
20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5

表 22 就職者数及び県内就職率

(単位：人、%)

各年 3月	就職者数	うち県内 就職者	県内 就職率
平成14	2,057	1,897	92.2
15	1,994	1,837	92.1
16	2,092	1,966	94.0
17	1,880	1,747	92.9
18	1,955	1,838	94.0
19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2

※大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。

図7 大学等進学率の推移

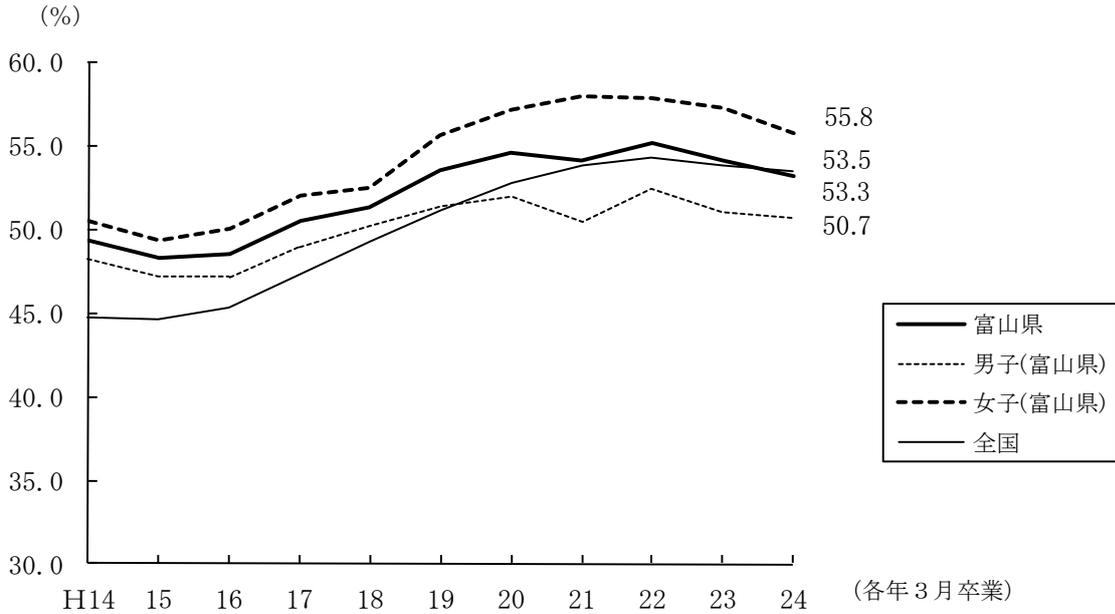


図8 就職者の推移

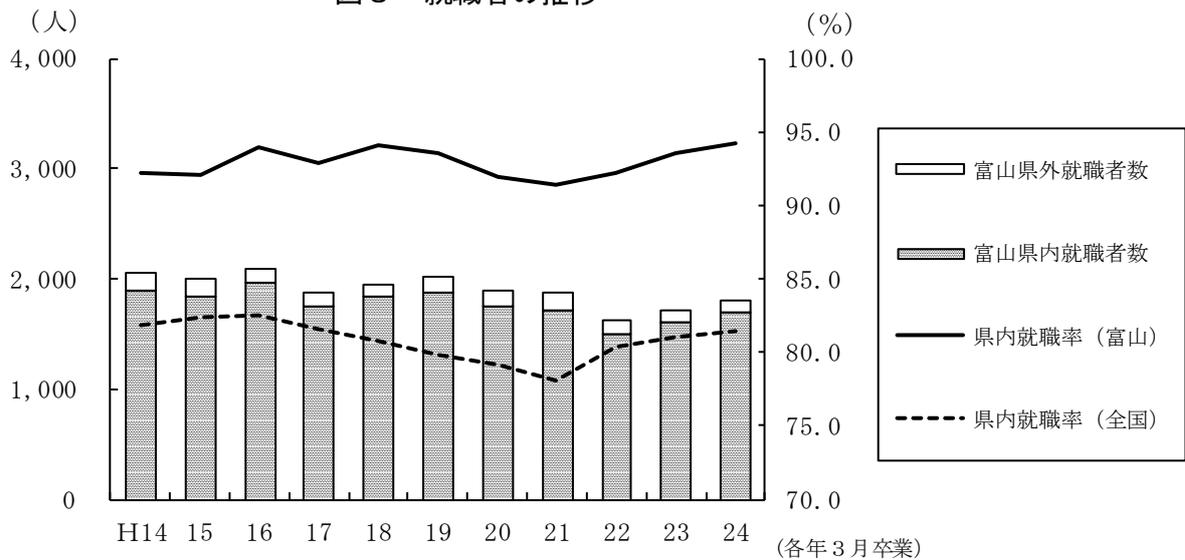


図9 就職者の産業別割合

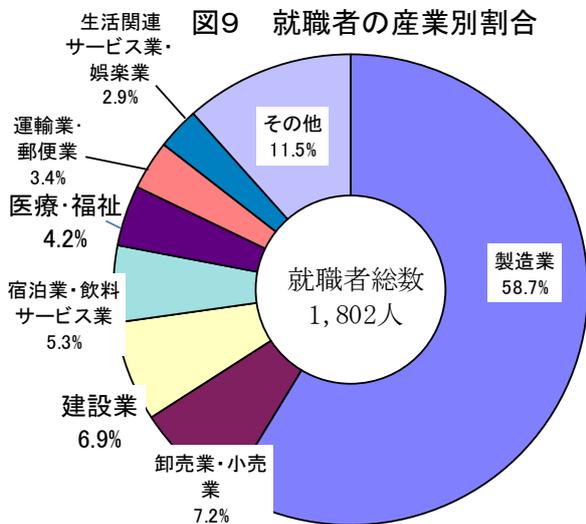


図10 就職者の職業別割合

